

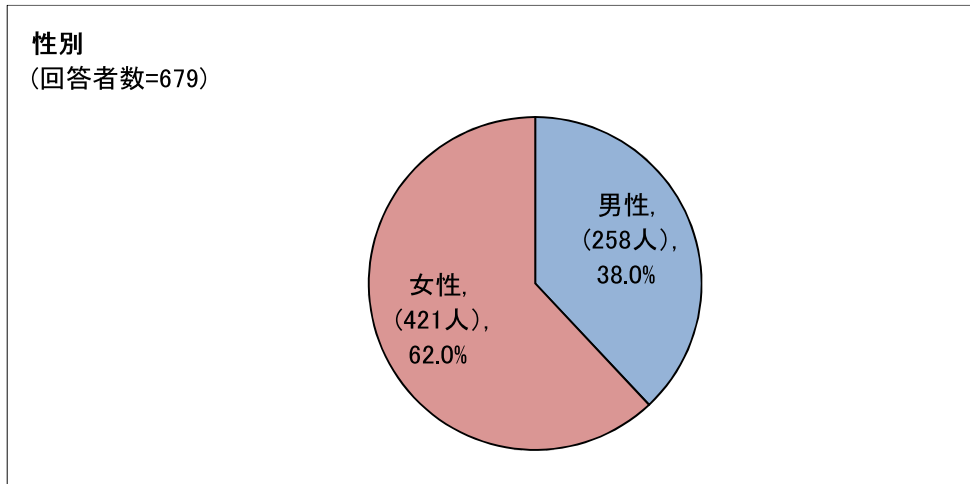
成田市インターネット市政モニター アンケート集計結果

第 68 回のテーマは「令和元年一連の災害時の対応状況についてのアンケート」でした。

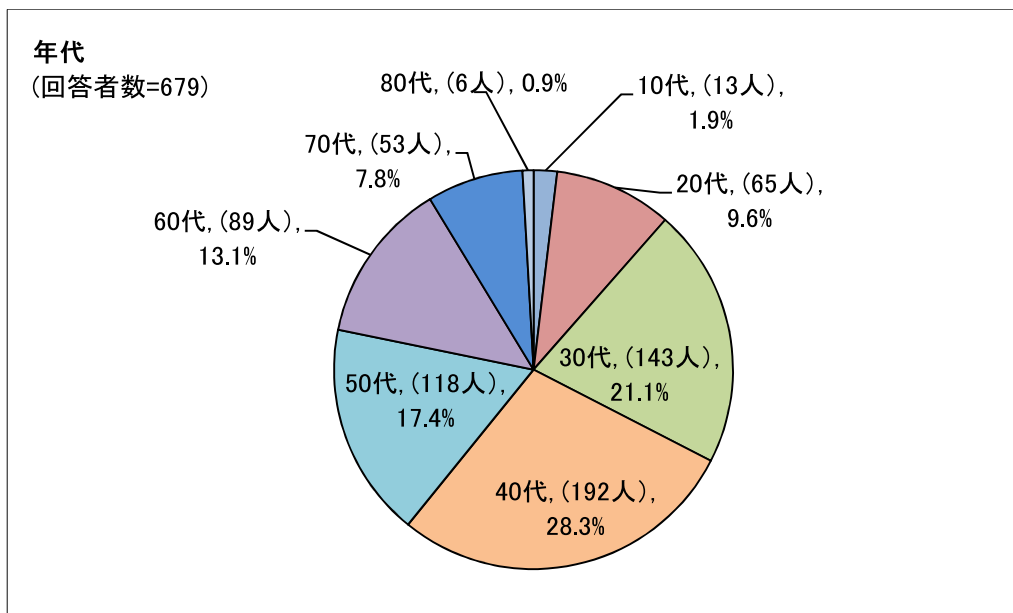
配信者数:967 人

実施期間:令和 2 年 8 月 21 日(金)～8 月 31 日(月)

回答者数(回答率):679 人(70.2%)

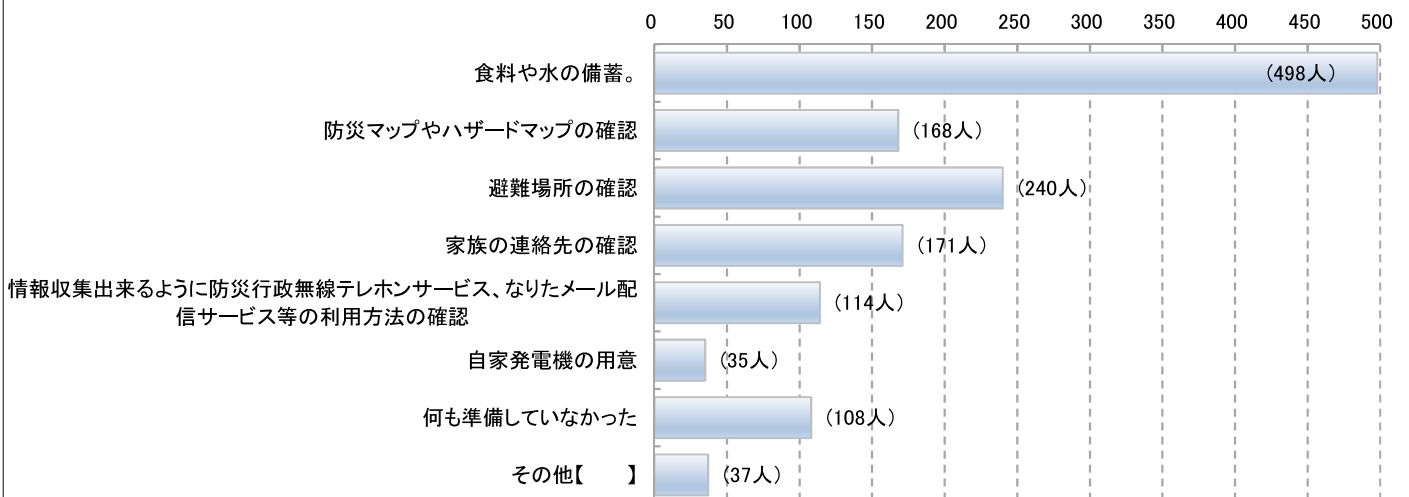


性別 単一回答	人	%
1 男性	258	38.0
2 女性	421	62.0
全体	679	100.0



年代 単一回答	人	%
2 10代	13	1.9
3 20代	65	9.6
4 30代	143	21.1
5 40代	192	28.3
6 50代	118	17.4
7 60代	89	13.1
8 70代	53	7.8
9 80代	6	0.9
全体	679	100.0

【Q1】昨年の台風15号等の一連の災害時に、災害に備え、事前にどのような準備をしていましたか。
 (回答者数=679)



Q1	昨年の台風15号等の一連の災害時に、災害に備え、事前にどのような準備をしていましたか。	人	%
	複数回答		
1	食料や水の備蓄。	498	73.3
2	防災マップやハザードマップの確認	168	24.7
3	避難場所の確認	240	35.3
4	家族の連絡先の確認	171	25.2
5	情報収集出来るように防災行政無線テレホンサービス、なりたメール配信サービス等の利用方法の確認	114	16.8
6	自家発電機の用意	35	5.2
7	何も準備していなかった	108	15.9
8	その他【 】	37	5.4
	全体	679	100.0

その他【 】

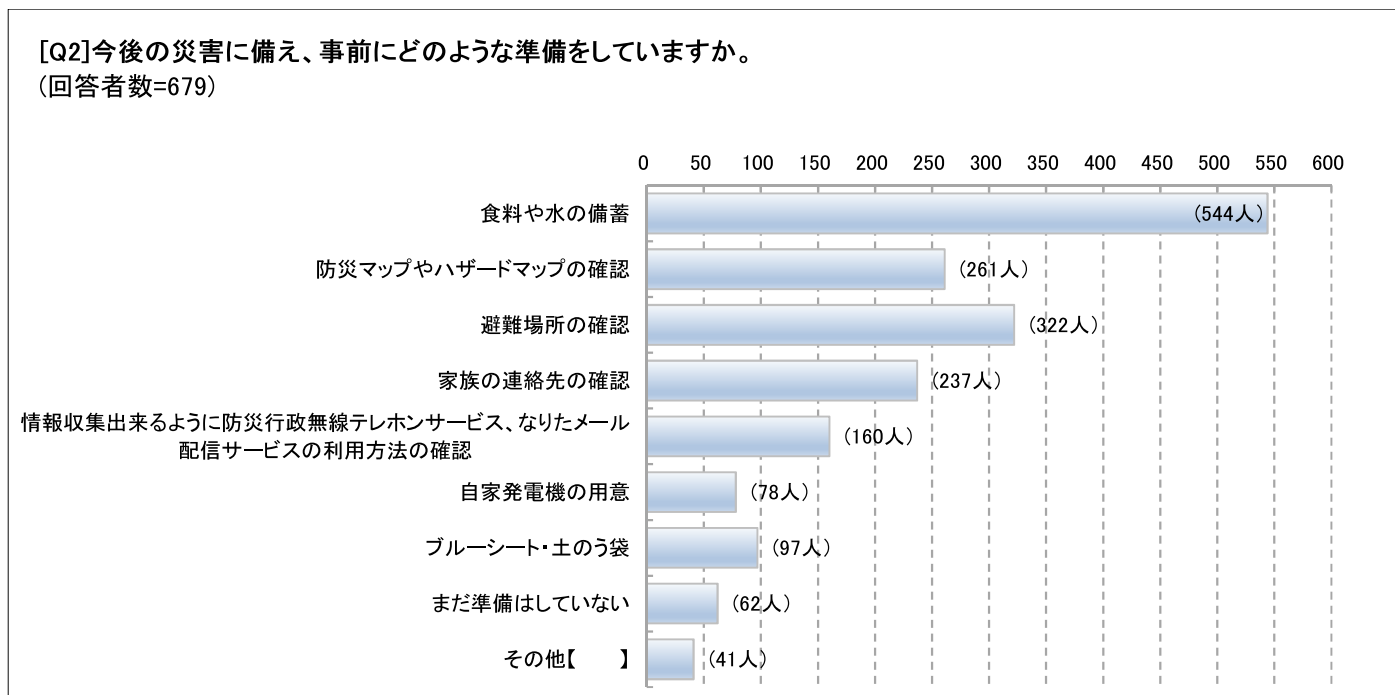
- 照明・扇風機・充電機等の準備
- 家の中に雨が入らないような措置
- 窓ガラスの防護やその他飛散防止
- 初めて高齢者家族等の事前・自主避難を実施した。
- 備蓄できる食品、浴槽に水をためておく
- 強風に備えベランダの片付けや窓ガラスの養生テープ補強
- ランタン、懐中電灯、ラジオ、電池の用意、お風呂の水を貯めておく、ガスコンロ。
- 車のガソリンを満タンにした。
- 防水仕様のブルーシートを購入
- 普段から水、カセットコンロ、乾電池等を用意確認をしている。
- ソーラーパネル葺きの屋根なので、停電時の日中の使い方を復習
- 避難経路の確認、ガラス破損対策など
- 敷地住宅周りの安全確認
- 自宅敷地内の屋外物品の室内退避、樹木固定、浴槽水張(断水対策)、防災用品確認、各所機器充電
- スマホが太陽光で充電出来る機材の購入
- 団地で、浄水場及び汚水処理常用のジーゼル発電機を設置済み

【まとめコメント】

70%以上の方が食料や水の備蓄を行っていた。

35.3%の方が避難場所の確認をしているが、防災マップやハザードマップの確認をしている方は 24.7%となっている。避難場所の確認をするとともに、その道のりの中で土砂災害警戒区域など危険箇所の有無なども同時に確認してもらうための周知が必要であることが分かりました。

その他の意見で窓ガラス等の補強、飛散防止を行っている方が多かった。



Q2	今後の災害に備え、事前にどのような準備をしていますか。	人	%
	複数回答		
1	食料や水の備蓄	544	80.1
2	防災マップやハザードマップの確認	261	38.4
3	避難場所の確認	322	47.4
4	家族の連絡先の確認	237	34.9
5	情報収集出来るように防災行政無線テレホンサービス、なりたメール配信サービスの利用方法の確認	160	23.6
6	自家発電機の用意	78	11.5
7	ブルーシート・土のう袋	97	14.3
8	まだ準備はしていない	62	9.1
9	その他【 】	41	6.0
	全体	679	100.0

その他【 】

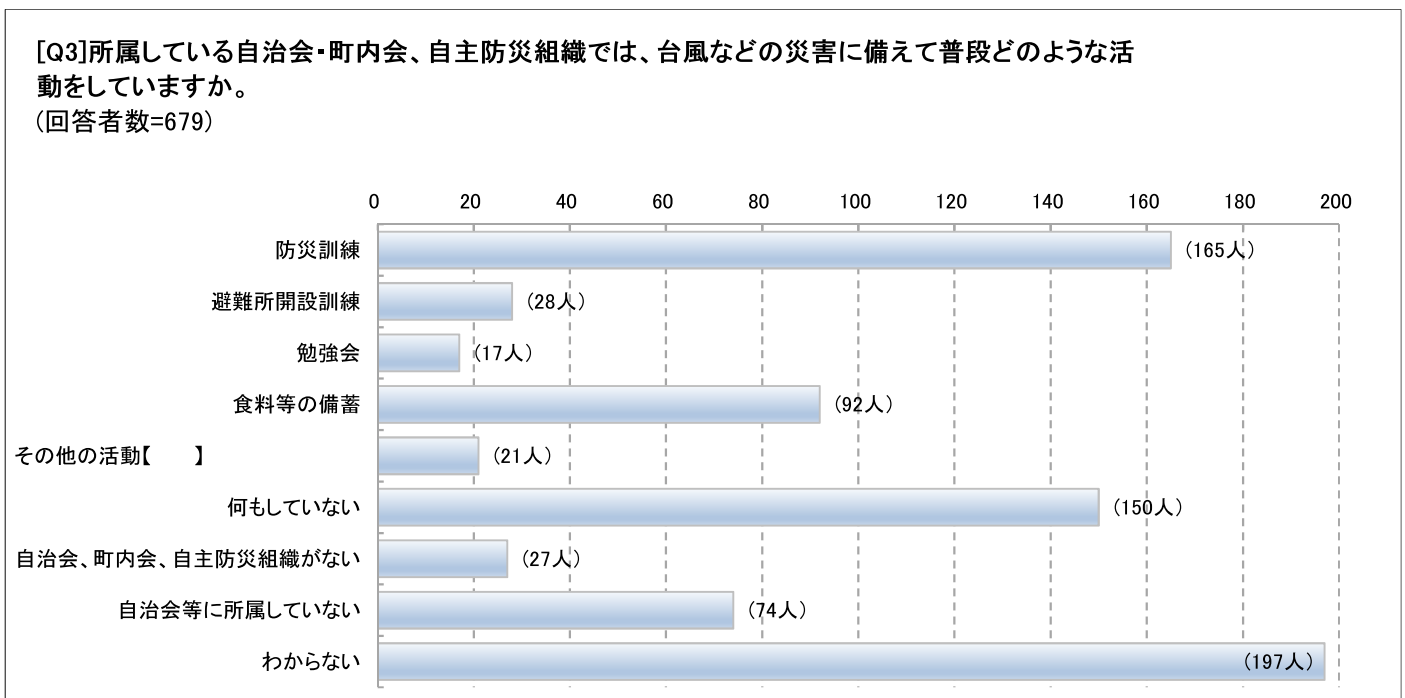
- 照明・扇風機・充電機等の準備
- 事前・自主避難
- バケツ
- ガソリンをこまめに入れる
- 懐中電灯、乾電池等の準備
- 停電時、通信回線切断時、充電と給水の方法を確認。
- 飛散防止処置と個人賠償責任保険の契約
- 養生テープ
- 携帯トイレ、洗面用具、寝袋など役に立つかもと思いつくもの全て

- ろうそくや電池
- ランタン、簡易トイレ、軍手
- トイレの水の逆流を防ぐ方法。
- 防災用品の定期的なチェック
- カセットコンロ購入。
- 住宅火災保険や自動車保険特約の加入
- 家庭用大容量モバイルバッテリーの用意
- 窓ガラス用飛散防止フィルム
- 非常持出袋の準備
- 携帯ラジオ、懐中電灯、スリッパ
- 情報収集
- 防災用品の充実
- キャンピングカー

【まとめコメント】

80%以上の方が食料や水の備蓄と回答している。

その他として車のガソリンを早めに入れることや、養生テープの購入、保険への加入の必要性を感じているものが多かった。



Q3	所属している自治会・町内会、自主防災組織では、台風などの災害に備えて普段どのような活動をしていますか。 複数回答	人	%
		1 防災訓練	165
2 避難所開設訓練	28	4.1	
3 勉強会	17	2.5	
4 食料等の備蓄	92	13.5	
5 その他の活動【 】	21	3.1	
6 何もしていない	150	22.1	
7 自治会、町内会、自主防災組織がない	27	4.0	
8 自治会等に所属していない	74	10.9	
9 わからない	197	29.0	
全体	679	100.0	

その他の活動【 】

- 火災の消火器体験
- 一時避難訓練。
- バーベキュー大会などと合わせた避難訓練
- 回覧板
- 自主防災組織
- 救急救命訓練
- 炊き出し練習
- 住民名簿の整理
- 災害対応資金の貯蓄
- 懐中電灯を配布してくれた
- 備品整備
- 発電機の備蓄
- 飲料水の備蓄
- 要介護者の避難訓練
- 世帯数の把握と連絡先

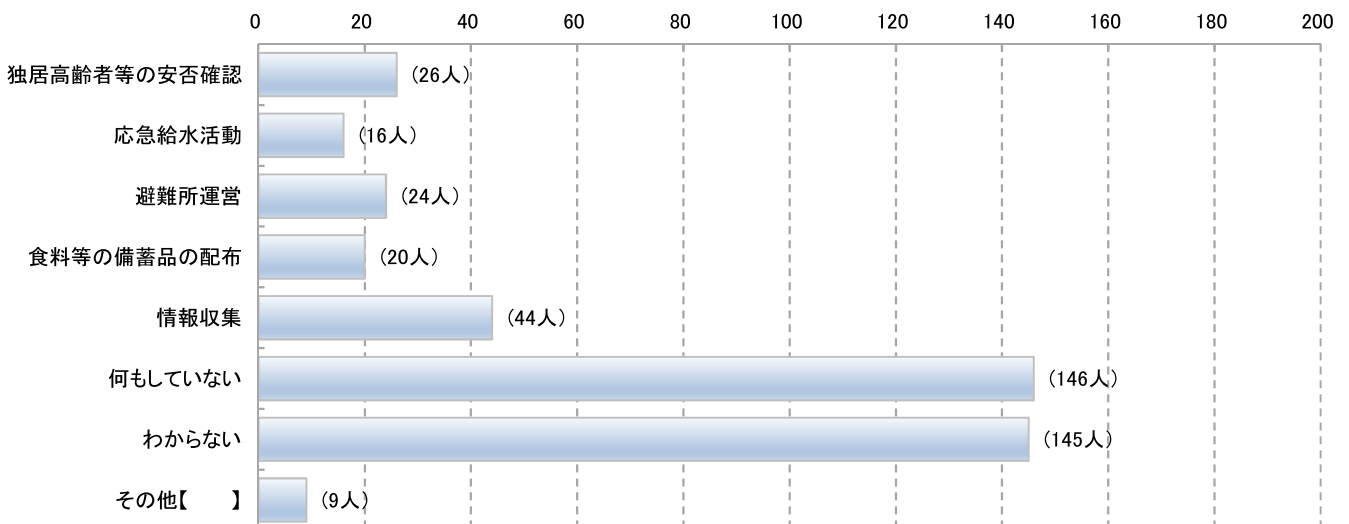
【まとめコメント】

防災訓練等、何かしらの活動をしていると回答した方が 47.5%いる一方で、半数以上の方が分からない、何もしていないと回答している。

Q3で「7.自治会、町内会、自主防災組織がない」「8.自治会等に所属していない」「9.わからない」以外を選択した方にお伺いします。

[Q4] 昨年の台風15号等の一連の災害時に、所属している自治会・町内会、自主防災組織ではどのような活動をしていましたか。

(回答者数=381)



Q4 複数回答	Q3で「7.自治会、町内会、自主防災組織がない」「8.自治会等に所属していない」「9.わからない」以外を選択した方にお伺いします。 昨年の台風15号等の一連の災害時に、所属している自治会・町内会、自主防災組織ではどのような活動をしていましたか。	人	%
		1 独居高齢者等の安否確認	26
2 応急給水活動	16	4.2	
3 避難所運営	24	6.3	
4 食料等の備蓄品の配布	20	5.2	
5 情報収集	44	11.5	
6 何もしていない	146	38.3	
7 わからない	145	38.1	
8 その他【 】	9	2.4	
全体	381	100.0	

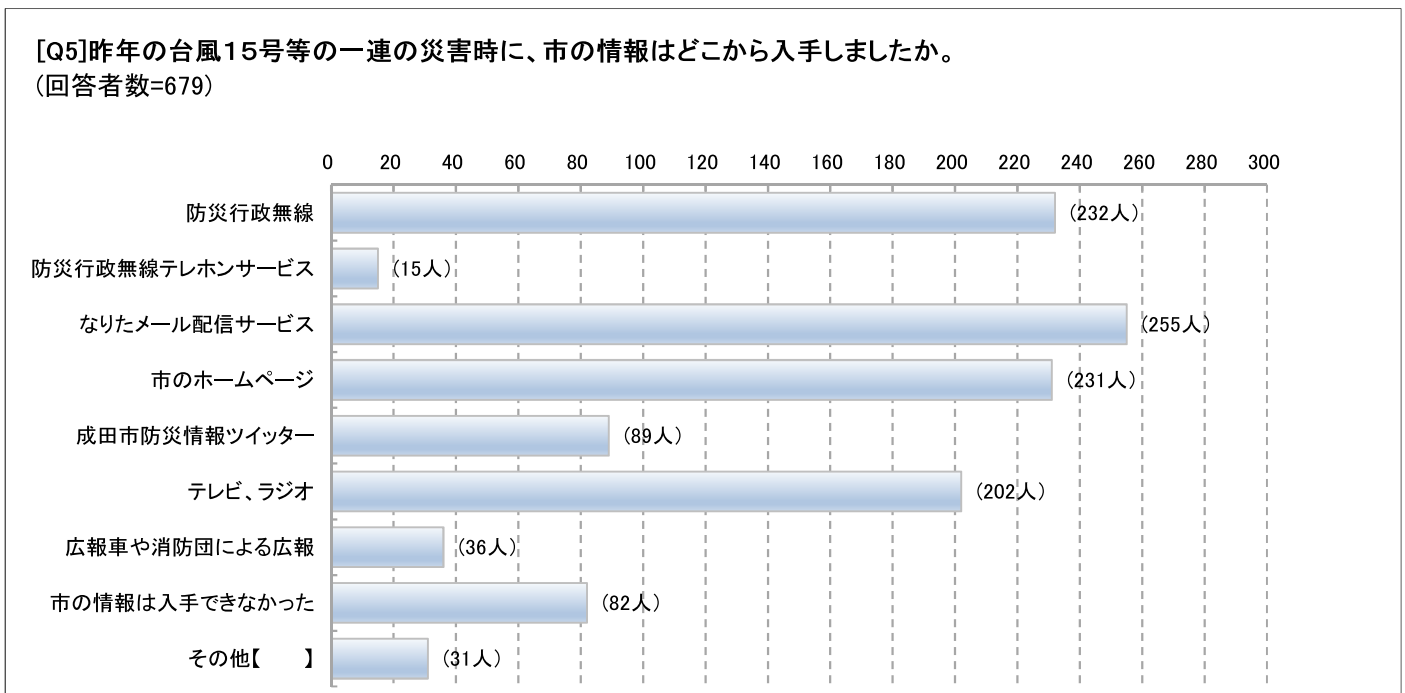
その他【 】

- あまり必要が無かった
- 発電機での携帯充電
- 今回の台風による被害がない為特に何もしていない。
- ベランダパーテーション破損被害の修理
- 市からモーターを借用し井戸水を汲み上げた。
- 災害後の被害の確認

【まとめコメント】

情報収集として自治会・町内会、自主防災組織を活用する方が最も多かった。

わからない、何もしていないと回答する方が多かったため引き続き地域防災力の向上に向けて共助の取組みの周知を行う必要がある。



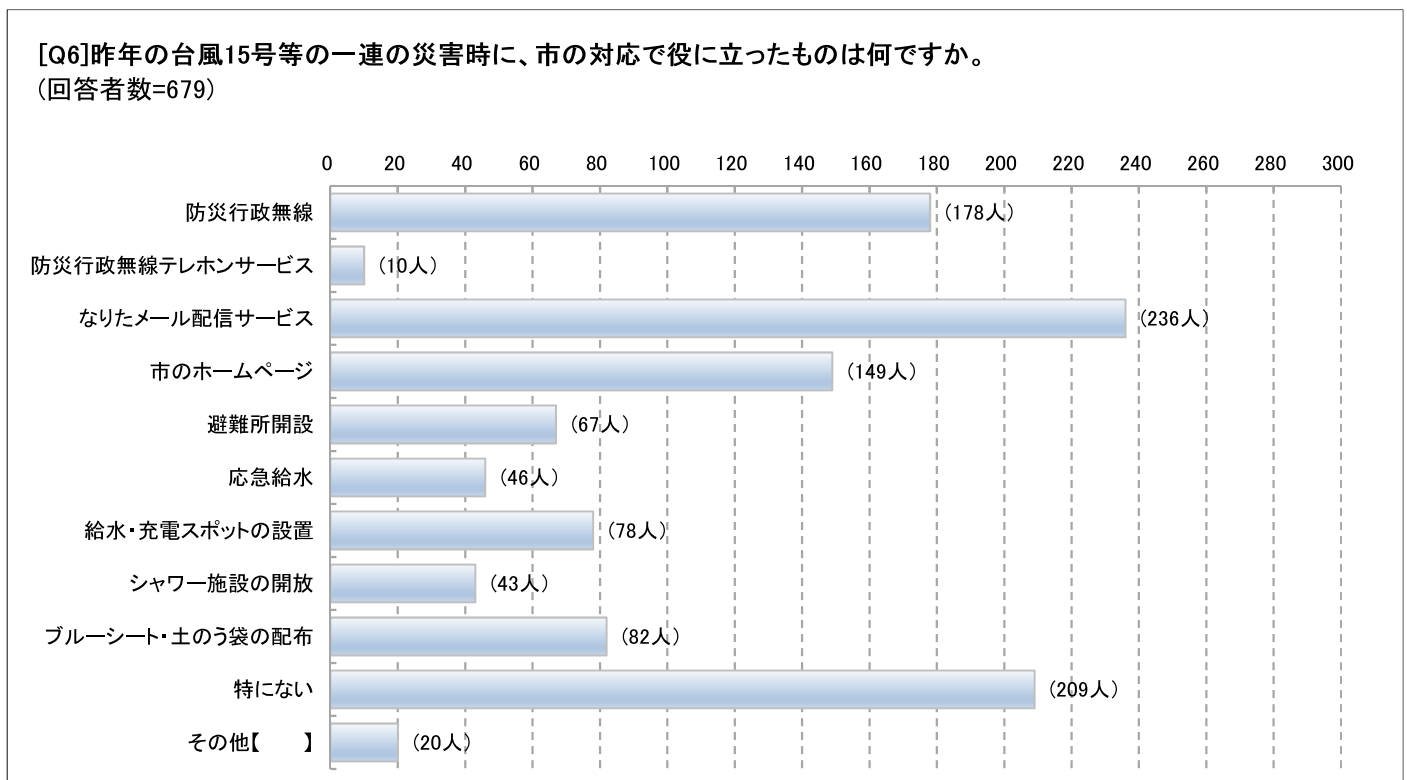
Q5	昨年の台風15号等の一連の災害時に、市の情報はどこから入手しましたか。 複数回答	人	%
		1 防災行政無線	232
2 防災行政無線テレホンサービス	15	2.2	
3 なりたメール配信サービス	255	37.6	
4 市のホームページ	231	34.0	
5 成田市防災情報ツイッター	89	13.1	
6 テレビ、ラジオ	202	29.7	
7 広報車や消防団による広報	36	5.3	
8 市の情報は入手できなかった	82	12.1	
9 その他【 】	31	4.6	
全体	679	100.0	

その他【 】

- 中央公民館
- 人伝て
- 会社の共有 SNS
- 成田市民の友人
- 市のフェイスブック
- 市議会議員の twitter
- ケーブルテレビ
- JAF 及び Weathernews の防災情報
- 電力会社のネット情報

【まとめコメント】

「なりたメール配信サービス」と回答した方が最も多く、全体の 37.6%を占めており、次いで「防災行政無線」が、34.2%と続きます。



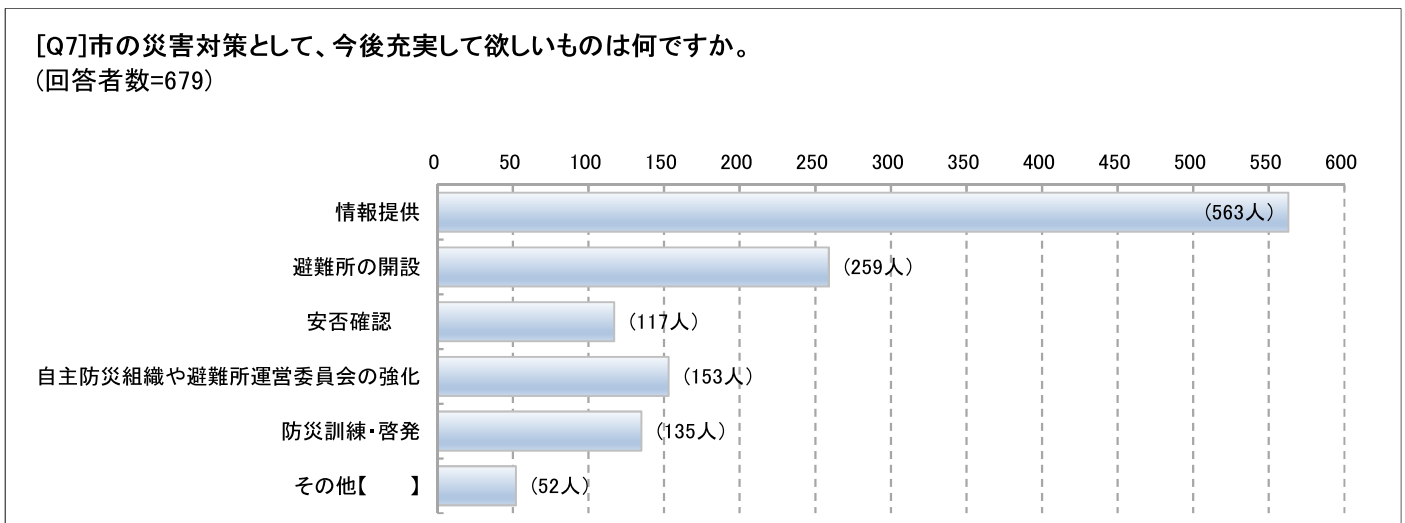
Q6	昨年の台風15号等の一連の災害時に、市の対応で役に立ったものは何ですか。 複数回答	人	%
		1 防災行政無線	178
2 防災行政無線テレホンサービス	10	1.5	
3 なりたメール配信サービス	236	34.8	
4 市のホームページ	149	21.9	
5 避難所開設	67	9.9	
6 応急給水	46	6.8	
7 給水・充電スポットの設置	78	11.5	
8 シャワー施設の開放	43	6.3	
9 ブルーシート・土のう袋の配布	82	12.1	
10 特にない	209	30.8	
11 その他【 】	20	2.9	
	全体	679	100.0

その他【 】

- Twitter
- 市のフェイスブック
- 飛来物の撤去

【まとめコメント】

「なりたメール配信サービス」と回答した方が最も多く、全体の 34.8%を占めており、次いで「特にない」が 30.8%と続きます。



Q7	市の災害対策として、今後充実して欲しいものは何ですか。 複数回答	人	%
		1 情報提供	563
2 避難所の開設	259	38.1	
3 安否確認	117	17.2	
4 自主防災組織や避難所運営委員会の強化	153	22.5	
5 防災訓練・啓発	135	19.9	
6 その他【 】	52	7.7	
	全体	679	100.0

その他【 】

- 防災無線がはっきり聞き取れない。数年前から伝えているが、改善されていない。
- 外国人にも日本人と同じような分かりやすい災害対策をしてほしい。

- 医師の確保
- 風対策・樹木歩被害をなくす
- 停電の速やかな復旧
- 水道が使用出来なくなったので迅速な復旧作業が一番です。
- いつも浸水する場所への対策。例えば、イオン成田周辺や成田警察署から国際高校の間。
- 中央公民館や成田市役所で状況が分かるようにしてほしい。
- 充電スポット
- 市税が高くなっていいから市が組織の強化を高めてほしい。
- 停電時の復旧見込み時間
- 成田ケーブルテレビで情報を流してほしいです。
- 利根川の水位や現状の情報
- 二重災害に対応できるようにしてほしい。二重災害の対策やシミュレーションなど、経験してみたい。
- 防災無線受信機の貸与
- Twitter の発信の充実
- 備品等の充実。特に昨年は停電の被害が大きかったので、各避難所に充電用大型バッテリーの導入を検討してほしい。
- 断水・停電時のシャワーや入浴施設開放
- 停電対策
- 災害による被害の保証制度の充実
- 避難が必要になった場合の、新型コロナ感染対策を準備しておいてほしい
- 住宅地以外の救済方法
- 電気に頼らない情報
- 生活必需品、不足品の早急な対応
- 高齢者宅への見回り
- 給水所、車などのものがもっとあるとたすかる。コンビニでは、食べ物もそうだが 水も売り切れてしまって 残ったジュースで紛らわせた。 みんなもしもの時に、コンビニに行くので 給水ポイントなどで 緊急時にコンビニを使わせてもらうとかなど 駐車場もあり助かると思う。
- 避難所としての公園の有効活用
- 大雨が酷くなってからでは避難出来ないのでは、早めに避難所を開設してほしい
- 市の防災担当者の訓練と意識の向上

【まとめコメント】

「情報提供」と回答した方が最も多く、全体の 82.9%を占めており、次いで「避難所の開設」が、38.1%と続きます。

その他として昨年の台風で停電により生活に不便が生じた地域が多かったため給水所や発電機など停電に対する対応を充実してほしいという意見が多くあった。

【Q8】その他、災害対応に関してのご意見・ご要望がございましたらご記入ください。(自由意見)

- 去年、電気ガス水道がない中で、一番困ったのは、お風呂に入れないことだった。銭湯やホテルの温泉をもっと開放してそれをホームページに載せて欲しかった。
- 大きな被害にあった場合、市の情報を取りに行くと思うのですが、これを機会にどのような情報が発信されているか確認しておきたいと思います。
- 防災無線が複数聞こえる場所では、放送がかぶって何を言っているか判らない場合がある。

- うち成田ニュータウンのマンションなので、比較的災害には強いと思っておりますが、成田市の防災無線は聞き取りにくいので、各家庭にラジオ型の防災無線があると安心です。
- 地域によって、放送が聞き取れない事が多い。確実に情報を得られるよう対策して欲しい
- 成田は災害の少ない街であり私自身基本的に他所ごととして捉えているような気がする。大いに反省すべき点です。気をつけます。
- 輪番で良いのでライフラインが停止してる場所や高齢者で情報が入手出来ない方々を重視し無線やメモ等を所持して現場に来て実際に見てほしい。
- 自治会のリサイクルや環境整備の際に、災害対応をまとめたプリントを頂けたら有り難い。
- 災害時に市では何をしていくのかを具体的に決めて広報などに載せて欲しい
- 防災無線は役立っていない。市民に伝わらなければ無いに等しい。至急改善をお願いします。
- 以前住んでいた団地(加良部 2 丁目)は防災無線が一切聞こえません(テレビを消し、窓を開けても詳細は聞き取れない)お年寄りなんて防災メール受信なんてしてないと思います。防災無線はぜひ皆さんに聞こえるようにしていただきたいです。
- よく水没するので、その対応をしっかりとってほしい。
- 去年、中台の避難所に伺いましたが、コロナ対策が気になります。仕切りなどが必要になると思うのですが。他の皆さんとの距離感が気になります。
- コロナ感染が収まらないので避難所の密等が心配です
- メール配信やネットでもいいけどやはり年配の方が使いやすいのはテレビだと思うので、ケーブルテレビを充実させてほしい。メール配信などの登録は自主的にやらないと存在を知らない人もいるので、市役所の窓口利用者などにも毎回勧めてほしい。
- 防災訓練の時に、避難所には何が準備されているのか知ることができれば、子連れで避難するときに、何が必要か前もって準備できると思う
- 復旧のスピードが場所により大きく差が出、その為気持ちの面でもつらい災害だった。避難所の開設は勿論だが、これからは電源スポットや給水など民間企業の協力が大きな分かれ目になるのではないだろうか。
- 前回の台風では被害がなかったけど、次は被害があるかもと思うと不安になる。最低限の食料の備蓄などはしておきたいと思っています。
- 私の住むマンションは自主防災組織もまだ作られていませんし、近くの避難所も集会所や小学校の体育館では、コロナ禍にあって多くの住民を避難させるには狭すぎます。成田は過去に甚大な被害が出たことが少なかったため、まだ深刻に捉えられていないのが現状です。万が一、大地震でも起きたらと思うと隣近所のお付き合いも殆どないこの地で高齢者や子ども達が守れるかとても心配です。
- 去年の 15 号のときは、冠水のせいで大渋滞が起こって帰宅できず、大変な思いをしました。どの道が通行止めか、どの道が通れるのかの情報提供がほしかったと感じました。
- 前回は風被害が多かったように思います。公園の木、街路樹、電線との関係、管理はお願いしたい。
- 防災成田の放送が聞き取りづらいので改善して欲しいです。
- 台風災害だけではないのですが飛行機の騒音対策で防音対策をしていただいています。市の災害情報放送は外へ出ないと聞こえません。電気が消えたり電池が無くなったりしたらと不安はあります。
- 緊急事態で応援を求めている情報を早く知ることが出来れば 駆け付けることができるので 速やかな連絡網の整備をお願い致します。
- 市から情報が少ないと、感じた。停電で、テレビが見られないし、ラジオからの情報が少ない
- 食料や水は前もって用意出来るが、停電で電気が止まるのが困る。道路が水溜まりで通行の出来ない場所の案内。排水機の設置。
- 成田市も広くて地域の格差も大きいと思います。その地区に即した対応出来るように対策を考えていただけますようお願い

います。

- ペット連れでも避難できる場所があると助かる人もいます。
- 停電時への対応として、小型発電機や蓄電池の備蓄設置のための補助。
- 去年の災害時に浸水した箇所を重点的に補強して欲しい。
- 電柱が倒れて停電、通信回線も断線。自宅は井戸水を利用しているので、ポンプのモーターが回せず大変でした。自家発電機の購入に助成があるとありがたい。
- 食料や水を備蓄して欲しい
- 現状に不満がありません。強いて言うならば、成田湯川・下総松崎・久住などの比較的、乗降の少ない閑散とした駅の防犯や雑草の刈り取り強化をお願いします。災害時の足かせにもなりそうだし、物騒な感じもするので。
- 仕方のない事ですが、防災無線は大雨や大風の時、何を言っているのか分かりません。わざわざ外へ聞きに出るのも危ないです。若い人達はネット等で、情報を集められますがお年を召した方達などに、迅速に情報を伝える術があると良いと思います。広報車や、地元の消防団、消防署などで回ってもらえるだけでも心強いと思います。食料品や水などの備蓄品は、各家庭で準備するのは当たり前のことですが、市から避難袋の様なものの配布があると嬉しいです。
- 日頃から防災訓練を実施して災害時にはすぐに対応できる方がいいと思いました。非常時には停電して携帯が使えない場合もあると思うので給水所、シャワー開設所などの情報を広報車を増やして地域を回り、最新状況を伝えた方がいいと思います。
- 高齢者だけではなく、障がい者や独り暮らしの老若男女の安否確認
- 停電発生の際の細かな発生場所の提供。友人宅が停電してる情報が入らず、手助けしてあげられなかったから
- 災害に対しては準備が出来ていないため、個人的にも用意しようと思う。
- 情報の共有
- 当時は電気の復旧が数日間遅延したが、私の住む住宅街では避難所の開設のみだったので、食料支援や熱中症対策支援があるとよかった。
- 最近では局地的な災害が多くなっている。前回の時も被害のひどい地域とそうで無い自治体があったようです。ですので、災害時には成田ケーブルテレビで情報を流している事を前もって全住民に知らせておくべきだと思う。それと市から情報の両方から頂けると有難いです。
- 防災放送は悪天候時は聞こえません。メールサービスを利用しています。しかし、インターネット等利用されてない方、ご高齢の方、障がいのある方への情報提供や支援を見直すことが必要かと思われま。
- 自然に対して人間は余りにも無力であることを知るべきである。一方、電線に覆い被さっている樹木の何と多い事か。昨年の長期停電の原因となった訳だから、東電任せだけでなく行政も対応すべきだと思う。
- 防災に関する具体的な提言やアイデアを、実際に被災した地域の方から、教えていただける勉強会など、防災会の役員だけではなく、誰でも聴ける機会を設けて欲しいです。避難所運営に関して、女性を補助要員とした考え方ではなく、男女同数の役員構成にして欲しい。女性目線の提言も大事だと思うので。
- 自治会組織が弱体化している。高齢者世帯が自治会に加盟していて、いざとなったら、家族同士で助け合うしかない。行政には頼れない。市長自ら共助を全面に出し、行政の責任はないと議会で発言して、がっかりしている。
- 避難指示解除の連絡は、防災無線ではなく、広報車などの車を使用し、早急に知らせて欲しい。災害時の給水場所を、歩いて行ける距離や地区ごとにあるようにして欲しい。
- 成田は広い。よって、情報は地区ごとに分けた方がわかりやすい
- 災害の備えは、各個人でお願いし発電設備の補助金申請の内容の見直しをお願いいたします。
- ウィズコロナの時代なので、人を介さずに情報を得られるよう、高齢の方等にスマホの普及を促進してもらえれば、と思います。
- 電線に絡んでいる樹木の伐採に付いて土地の所有者と調整し速やかに対応して頂きたい。
- 停電時の早期復旧

- 下総地区の防災行政無線は、航空機の騒音で聞き取りにくいです。此の為、個々に戸別受信機が設置されていますが、最近戸別受信機からの放送が無いように思います。緊急時や災害時には、戸別受信機からの放送をするようお願い致します。
- こちらは防災成田です、の防災無線が広範囲に聞こえるように、検証してほしいです。今、時々流れていますが何を言っているのか聞き取れません。成田市内は、一部で停電がありました。市の広報車等で情報を伝えて欲しかったです。
- 昨年台風の際に千葉市の娘の所から帰ってきたが、千葉市・四街道市などでの国道や県道での水深30CM 以上の水溜りがあちこちに発生し、動けなくなった車もたくさん見かけた。自分の車は運よく停車はしなかったが、後日ディーラーでの点検修理に高額な費用が発生した。主な幹道での急な降水時の排水能力などは事前調査し、水溜まる恐れのある所は早めの通行止めを出せるようにしてほしい。水溜りが判っても、その時の深さが判らず後続車もたくさん来るので、車は水溜りに入っていくことになってしまう。
- 1人で動けない人の誘導はどうするのか？
- 1年前のことなので、もう記憶が定かではないが、停電情報などは市というより、東京電力のHPで確認したような気がする。市としても迅速な情報発信をお願いしたい。
- 防災のマイク案内は聞こえません。聞こえるとしても近くの一部の住民だけでしょう。最近予想を超えた、対策の数値または指数を超えた、例えば川の氾濫が起きています。行政側にそれに対応することが求められていると思います。
- 毎年のように未曾有の災害が起こります。地震や台風…もう未曾有ではなく、起こって当たり前だという意識で対処する必要を感じます。with コロナの状況下では、ますます大変な事態になりますが、個人でできる準備は怠らないようにと気を引き締めています。
- 防災連絡のスピーカーの音声が聞きづらい
- 自分を含め自治会会員の高齢化を理由に、市の助成を期待し何ら行動を起こしていない。
- 高齢者の安否確認や避難状況の把握。瓦や飛んで来たゴミの回収。特に割れた瓦
- 自治会では何もできない自主防災会を組織として立ち上げてはいるが、昨年大雨では、近所の一人暮らしのお年寄りから自分はどこの避難所に行ったらいいかわからないとの連絡が自分にきた。このような時のために自主防災会を組織しているはずなのだが何もしていないようである。どこの誰に問い合わせるかもわからずに困ったことだと思う。
- 防災センターを兼ねた公民館等の施設の改良
- コロナ対応の避難所が必要になってくる
- 断水や停電が続いた場合、避難場所での給水やシャワーの利用は大変助かると思いました。
- 事後の経済的な支援の充実
- 情報が遅い
- 昨年は利根川がもしかしたら決壊というニュース放送がありました。決壊しますと水の流れるのは速いので素早く移動が必要ですが、いつどこにましてや今年はコロナがあり、感染リスクの少ない方法を連絡していただきたいと思います。
- 水や電気の供給が停止した場合の準備を充実させて頂きたい。
- どんな物を備蓄しているか知らせて欲しい。
- Twitter や HP で最新情報を公開してほしい
- 防災無線放送は窓を閉めているとほとんど聞き取れない。窓開けていても細かい内容は山に反響して聞き取り困難。受信機を全世帯へ無償貸与する必要がある。
- 台風 15 号のとき停電で信号機が消えていて非常に怖い思いを下ので、停電時は早急に発電機等で信号機の電源は確保してほしい。
- 成田市の Twitter はフォローしているけど、情報が少なく即応性がないので役に立たない。成田市の若い議員さんや成田市に住んでる一般の人の Twitter の方がよっぽど役に立つ。災害時だけでなくコロナについても同様。もっと情報発信に力を入れて、スピード感のあるツイートをしてほしい。
- 障害者は避難場所があっても避難所にいれない場合があるので、貯蓄で分けてもらえる物があつた時はどこに何がある

かわかりやすいといいとおもいます。

- 市の HP を見て災害時のマニュアル事細かに記載されていて素晴らしいと感心致しました。しかし職員がマニュアルに決められた様に行動できるか又訓練をしているのか少し疑問に思いました。また災害が起きてから避難所が開設されるまでのくらの時間がかかるのか？市民として知りたいと思っています。それまでは自治会で助け合って過ごさなければいけないと思っています。
- 停電時の対応。信号機の点灯しない交差点が増えると、交通パニックになるため。
- 成田市は台風で水没する場所が多い。渋滞するので迂回ルートなど提供してほしい。
- 転入者への災害対応の講習会
- 自主防災組織の立ち上げに動いたが、負担が増える等で自治会全体では合意できなかった。負担を減らしたり、ある意味半強制的な仕組みが必要かと思う
- 地域によって避難所が遠いので避難所の数を増やして欲しい。
- 自家発電機の助成金や災害避難グッズの各家庭への配布等があったらいい。
- 停電対策、冷房確保を検討してほしい
- 我が家はアレルギー児がいるので、食事が不安です。近所には、半身不随のお年寄りもいます個々のニーズを把握して、地域で助け合えるようなシステム作りをして欲しい。住宅地でひとが増えている中で、避難所の活用方法など、誰が指揮をとるのか、災害時に争う事の無いよう事前にある程度の取り決めが必要では無いでしょうか。大雨のなかでは、防災無線は全く聞こえません。台風、地震が同時に、真夏の炎天下や真冬に、夜中になどコロナの流行る中、悪条件が揃った時を想定出来るようにしたいです。自治会に加入していない人への対応も困りますね。
- 最近、これまでに経験した事がない風や台風や大雨などひんぱんに現れるので、災害に備えて、行動しなければならないと思った。個人で水や食料の備蓄は大切だ。
- 停電がいつまで続くのかわからず不安だったので、情報があれば思います。
- 情報発信を早めに流して欲しい。停電も長く続いてるのは、自分の所だけなのかも分からず、電話も繋がらず、とにかく不安だったので。
- 日頃より水はけの悪い排水口、U字溝の清掃を行っておく。とよろしいかと思えます。宜しくお願いします。
- 防災無線は台風の時は聞こえない。窓は怖くてあけられないので。
- 台風 15 号の大きな影響は倒木による停電だと思います。これが無ければ停電が早期に改善され市民生活の困窮はなかったと思います。これに対し新聞報道ではいすみ市では、市民生活道路の確保や市民安全、重要施設の長期停電防止のため、使用目的制限のある補助金に頼ること無く、能動的に道路、電線周辺の予防伐採を始めたことと知りました。なぜ、成田市はこのような活動を行わないのですか？
- 去年の台風災害時、停電もしていた為、何も情報がなかったのも、いつ停電が復旧するのかもわからず、暑さが辛かったです。防災無線も聞きとり辛かったです。災害が起きる時期で、電気がないと暑さ・寒さの原因で命に関わる事もあります。コロナの関係で避難所が難しいとは思いますが、避難所の充実と情報の充実をお願いします。
- 年々、災害の規模や頻度が増えているので、自分自身もそうですが、もっと対策が必要かと思えます。
- 防災無線か流れているのはわかるのですが、ほぼ聞き取ることができず、twitter で内容を確認していました。駅、公共スペースへの掲示など、いろんな方法での情報発信をお願いしたいです。
- 去年の台風による被害は甚大で、停電や冠水の影響もあり、生活が危ぶまれました。夏場に電気が止まった場合、交通網が麻痺した場合を想定し、必要な物資を整備していただければ安心です。
- ボランティアの派遣を市で取り纏めて頂けたら、どこの地域でも協力したい。
- 市内中心部だけが災害時に手厚い対応をしている気がする(給水・充電所の設置数やシャワー・入浴施設の開放等)全地域に平等に防災設備を準備してほしい。
- 昨年、ボランティアの募集がないか探すのに手間取った。すぐに開設は難しいとは思いますが、何か手伝えることはないかと思っている人もいたと思うので、ボランティアセンターを早めに立ちあげてほしい。また、災害ボランティアの研修会や組織

を成田市で作ってほしい。(すでにできていて、私が知らないだけだとしたら、すみません。)

- 台風 15 号の時は、水道や電気が1日近く止まった状態で、先が見えず大変不安でした。市の対応、動きが遅かったように思います。まず安心できるような素早い情報提供をお願いします。
- 災害で家屋や農作業関連の設備(ハウスなど)の被害に対して幅広く、誰もがわかりやすい申請方法を住民にいち早く情報として提供してほしい。高齢の方に対してもできるだけ手続きは簡単に行えるようまたは職員がわかりやすく説明したり現地に行き状況把握をするなど行政サービスの充実を図ってほしい。高齢の方々にとって細かい手続きは大変だと思います。
- R1 年度に起きた数々の災害から、自治会に入っていれば、地区長さんや民生委員さんなどと日頃からコミュニケーションが図れるため、いざという時に互いに声かけがしやすく孤立せずに済むということを学びました。それは高齢者だけでなく、子育て世帯や、独身者にも言えることだと思うので、これを機に自治会の輪をアパート世帯や若者世代にも広く周知できると良いと思います。災害が続いているため自助努力はそれぞれの責任で出来るかもしれませんが、共助については日頃から少しでも人間関係を築いている地区の強みだと思います。
- 防災無線が聞こえにくいしもっと timely に迅速に連絡してほしい。市民は不安と心配です。
- 防災の放送はどうして聞こえない(理解できない)のでしょうか？スピーカーでの情報伝達は今の時代に合わないのでしょうか？学校、駅、スーパーとかに情報が見れるモニターがあれば良いと思いました。
- 防災無線の積極的活用が求められる
- 自治体で停電世帯があったが、自治会は何の役割も果たせなかった。連絡網の強化が必要。
- 自治会の防災部、及び避難所運営委員会に籍を置いていながら、何の連絡も無く、自治会の指定学校に「避難所」が開設されたことを防災情報で知り、これまでの活動が何だったのか？と、無力感を感じました。(その開設も一番荒れ模様の時で、とても動ける状況ではなかったのですが) 又、防災無線は強風と豪雨下では、何の役には立たないことも確認できました。携帯・スマホでの情報で、防災無線の内容は確認できました。が、情報の「連発」で、今必要な「重要情報」が疎かになる危険を感じました。防災マップも、事がおきてから眺めるのではなく、事前に自分の住んでいる場所の危険状態を把握するよう、指導していく事が重要であることを強く感じました。マップから、自分の住んでいる場所の危険性を把握するには、事前の学習・訓練が必要と考えます。折角作り上げた防災マップです！！ 作って終わりではなく、危険を体に染み込ませて、その目的が達せられるのです。コロナウイルス感染対策も、緊急的に検討していくことが求められています。避難所のスペースの問題が一番かと思っています。高校の積極的な参画を求めます。
- 避難所の開設が余りにもギリギリなので、行きたくても、開設するのか、しないのか、分からず、利用出来ない。小学校と指定されているが、現実的ではなく、遠すぎて歩いては行けない。せめて、公民館にして貰えないだろうか。
- 台風など事前に危険が分かるものについては、その期間だけホームページを災害対策喚起用の、危機感の迫るレイアウトに変え、避難場所などを用意に閲覧できるように変更してもらいたい。
- 今までと規模が違ったのかもしれませんが、ブルーシートと養生テープが足りなかった備蓄が必要かもしれないけど。個人の意識の問題かもしれない
- 危険地域はもちろん、行政の防災の充実とそれ以外の自主防衛を促すことも必要かと思う。
- 避難所でのプライバシーの保護、安眠できるブース等あったらいいですね。
- 大栄地区に居住しています。前年の台風被害の時、成田空港へ行きました。空港も国内外の利用客の方々の対応で大変な状況でしたので、あまり利用されていない通路で過ごしていました。その時も残暑が厳しく、クーラーがないと過ごせないほど、赤ちゃんをつれた家族も見えていました。今年度はコロナの状況で難しいですが、長い目で見た時、近隣住民の避難場所の一つとして考えて頂きたいです。
- 防災無線が聞こえない。成田市ホームページを確認しても情報更新が遅い。防災行政無線テレホンサービスは繋がりにくい。
- 昨年台風では各地で倒木があり道路が通行不可の状態になっていました。また倒木の影響により 1 週間弱の停電を経験しました。情報が無く復旧見込みは分からなかったものの、1-2 日程度で復旧すると思っていました。このため避難所

に避難すべきとの判断には至りませんでした。冷房や暖房が欠かせない夏季や冬季ではなく、自宅で空調なしで過ごせる時期であったことから数日間、自宅で復旧を待てましたが長期の停電や断水が夏季や冬季に訪れたら避難の判断は違っていたと思います。情報提供の拡充をお願いします。自家用発電機を各家庭が揃えるのは難しいと思いますが、各家庭に簡易的な 100v を取れる小型大容量バッテリー(12000mAh 程度)を備えることは出来ると思います。災害時に備える家庭用バッテリー購入の補助金を希望します。

- ブルーシートを取りに行けなかった。時間や数量が微妙だった
- 公津の杜で自治会があるところと無いところがあって、非常時の時に対応や情報格差が出そうで心配。
- 成田市は河川の氾濫は考えられないが、道路の冠水箇所が何か所もあり通行出来ない場所が発生します。災害時には自家用車は必須でありますので、ゲリラ豪雨に備え道路の整備をお願いしたい。
- 災害時に一番必要なのは情報です。でも、市内でも地域によって状況が違うので、市が細かい状況を把握するのは難しいと思います。地域の自主防災組織などと市が情報共有に努める必要があると思います。
- 停電が一番困る。食糧は保存しているが、調理できない。寒さはストーブでOKだか、暑さは、エアコンなければ、熱中症、電気があれば、日常生活は、殆どできる。国、県、市、各道路市内にあるのだから、市道は当然ながら、国、県道路は管理、立木等の伐採管理を依頼してほしい。現在、市内道路立木が電線、電話線に多く倒れかかっています。台風直撃すれば、必ず停電混乱します。特に県道 63 号線等県道が管理不十分、知事は個人的に視察をしてください。避難所プライバシー大事、子供うるさく眠れない、壁を作ってください。前回は災害の他県応援東電の活動拠点となったイオン成田、前面の道路が毎回冠水どうにかしてもらいたい。※最重要災害拠点として、指定してもらいたい。土嚢、ブルーシート、消毒剤、衛生用品の備蓄を！
- 災害情報のサイトが繋がりにくく、情報把握が難しかったです。
- 防災無線何を言っているのか全然わからない。雑音にしか聞こえない為、ただイライラするだけ。聞きとりやすく改善すべき。それが出来ないのであれば防災無線は止めるべき。イライラするだけで健康に悪い。災害で大変な時、市議員は近くの住民の声掛けをして欲しい。それだけで少しは不安が取り除ける。
- 食料や水が心配。小学校まで取りに行くのは大変なので、団地の施設に給水所ができるとう助かる。
- スマホの無料充電場所の設置
- 実際にはどうなのか把握していませんが、災害時の食料などを配布されるのは避難所にいる方のみだと聞いた事があります。我が家は犬 2 頭、猫 3 頭いるので人間だけが避難所に避難する事はとてもできません。避難所に滞在できない人にも食料や物資を配布してもらえないと厳しいです。私の犬友達の多くは、避難所には行けないと考えているので、実際どうなるのか不安でいます。
- 近隣に家がない地域です。自家発電ができなければ井戸水も出ません。避難所へは車が必要な場所で高齢者もいるので、避難はできないと思います。親の世代では青年団等で活動がありましたが、今はありません。普段から、ライフラインの確保は自力でしないとイケないし、そうできるようにと考えています。とはいえ、井戸が動かせる発電機は 20 万ぐらいします。田舎には死活問題なので、書いていて気付きましたが助成金が有ると助かります。偶々、自宅の辺りは停電がなかったのですが、複数世帯の親族の地域では停電の被害があり、風呂等のため、家に通ってきていました。給水サービスは助かりましたが、ガソリンの確保が難しかったです。自衛隊と市の災害対応には、助けていただき感謝しています。市民の 1/10 とはいえ住宅地以外の住民もまだ多数いますので、市街地の住民同様に支援を宜しくをお願いします。
- 橋賀台 2 丁目に住んでいるが避難場所が橋賀台小学校なので橋賀台 3 丁目だけでも UR の建物が 20 数棟あるので私たちの居場所はないかも？自宅に居るしかないのでは――
- 停電が長引き井戸なので水も出ないため、暑さに耐えられなくなり避難所でお世話になりました。足が悪く、直に床に座る事ができなかったため、椅子を 3 個並べて寝ました。朝顔を洗って、トイレに行けて助かりました。ありがとうございました。
- 年配者にも情報が速やかに正確に伝わる様に、お願いしたい
- 被害が大きい時に水や電気、ブルーシートの配布等を早めに行き渡るようにお願いしたいです。
- 防災無線が鳴っているのはわかるが、何をしゃべっているのか聞き取れないことが多い。

- 平常時における危機管理意識喚起の活動が必要かと思えます。
- 避難訓練を、ただ業務的に行うのではなく、想定し得る様々な状況下で考える必要があると思う。最近非常持出品について自分なりに考えたが、インターネットで色々情報を仕入れ、取捨選択を試みた方がいい勉強になった。想定外が起きることは仕方ないが、想定できる対策はできる限りしたいと思う。三人寄れば文殊の知恵、避難訓練や災害対応訓練も、外部専門家や団体などと共同ですると意義が更に高まるのではないかと感じる
- 市の危機管理意識、危機管理体制及び BCP プランについて、見直しや再設計が必要ではないだろうか。観光客への情報提供(当然ながら多言語での対応も)を行う上でも、仕組みを確立し、それについてまずは市民に周知することが最低限必要であると思う。
- 予想以上の風で被害にあいましたが、もし風の警報があれば、被害を最小限に抑えられたと思います。
- 補助金の申請が面倒で、結局申請しませんでした。簡素化して、申請しやすいと利用しやすいです。でもそれだと、悪用する人もいるのかな？
- 今回は「うちには」何も被害がありませんでした。しかし親戚や友人など、停電や断水等困っている様子がありまして、私達で出来るだけ物資を届けていました。明日は我が身だと思って落ち着いたところに食料の備蓄を増やしたら丁度今くらいで賞味期限切れのものがたくさん出てきます。保存食へのアドバイスなど出していただけたら嬉しいです。
- 事前情報の周知方法の流れを市民に周知徹底を図ってほしい。
- 今年も、台風のことがかかわると、尚更たいへんです。水 食料 確保しておきたいと思えます。
- 日頃より、台風に続きコロナ対応と大変お疲れ様です。事後に聴いた近所のお年寄りの声として、携帯充電や井戸水で困ったと聞きました。停電で学校や公民館が避難場所として開設されず、千葉市のようにソーラーパネルと連動されていれば、充電や井戸水の提供もできたのではと感じた。自主防災組織の発電機も活用されず残念だったので、活用の啓発をお願いしたい。情報伝達手段として防災無線が機能せず、非常時用臨時回覧板として、内容を避難場所の市職員から各自治会長宅にポスティング又は取りに来てもらうのも有効ではないかと感じました。暑い時期で自宅ではソーラーパネルがあり電源が取れ幸いでしたが、エアコンに供給するまでの電力は賄えず、子供も停電で登校出来ず、昼夜問わずクルマのエアコン頼みで、出勤出来ず困りました。蓄電池購入の補助があると購入しやすくなるので検討頂きたいと思えます。よろしくお願ひします。
- 公津の杜地区では、側溝からの水の溢れ、ユアエルム協交差点の道路冠水、特に3丁目は駅から自宅にたどり着けない事例があった。
- 情報が全般的すぎて、住んでいる地域とは関係ないことが多いので、地域別の具体的情報提供でないと役に立たない。少し場所が違うだけでも状況は大きく異なる。
- 実際に家の全壊の罹災証明を受けました。しかし水の配給などわからず、全く助かる手当てを知り得なかった。必要な人に必要な情報を伝えるようにしてほしい
- 市の情報は全く役に立っていない。情報を出せばいいというものではない。住民に確実に伝わるものでなければならぬ。
- 備蓄しておく物や日ごろから心がけるべき事を知りたいです。
- 確かな情報(誤った情報が色々な所からくる)。
- ボランティア活動で高齢者・障害者等に対する支援要請の指示が錯綜し判断に支障をきたした。社協・危機管理課・福祉部等の情報共有を望みたい。避難勧告・避難指示の意味合いが不明瞭なので一本化して欲しい。河川の水位情報を地域別に把握できないか検討頂きたい(中小河川は上・中・下流では水位の変化が変わってくるので)。利根川の水位観測地点も再検討頂ければと思う。
- 普段からの啓発が必要だと思えます。
- わが家は防災無線が聞こえづらいので、改善してほしいです。
- 避難するか、しないかの判断に近所の知り合いからの助言が大きく左右するとの事です普段からの近所付き合いがいかに重要か市民に徹底して知らせた方が良いと思えます。

- 災害は情報提供が何より重要。フェイク情報の払拭を！
- 声をあげにくい。どうして良いか、相談する人もいない。上から動いて欲しい。
- 私自身被災していないので、今回はあまりお役に立てないと思います。長引く停電でみなさんご苦労されていたようですが。
- 防災無線は、台風や強雨時には、雨風の影響で室内では聞き取れない。また、普段でも話す人によってはとても聞き取りづらい時がある。話し方教育も必要と感じる。(声のこもる人、間延びしすぎる人など)情報はホームページや成田ケーブルテレビで確認するのが良いと思うが、こまめにかつ速やかに発信されないとみなくなる。
- 知り合いが住む空港そばの地区では停電、断水が発生した。もともと防災無線が聞き取りにくい地区だそうで、近所から噂のようにくる話しを頼りにし、特に給水に関しては指定避難所に毎日通い、有無や時間を確認していたと聞いた。メールでの停電、断水が役にたったので、今後のために配信メールの設定を教えてあげた。居住者に高齢者率が高い地区は情報提供、対応を特に充実した方が良いと思う。ハザードマップを見ると、そのような地区は警戒が必要と示されている。
- コロナ禍で気にしていなかったが、その時の教訓が何かに活かされているのか。ブルーシート等の配布は有り難かったが、瓦屋根の修繕は、業者探しも大変だったし、修繕費もかかった。自分で検証していないのが一番いけないが、ブルーシート等の配布以外市で何かして下さったのか記憶にない。(勿論一人ひとりの職員の方は、一生懸命してくださっていたと思う。)
- 停電からの早期復旧への尽力。軽食、給水無料配布は早い時間に行かないと品切れになると聞いたが、時間の自由がきかない人の為に朝昼晩の時間帯を設け、同一人物は複数回もらえないようにチェック機能を付ける。
- 自治会等を通して、勉強会をしてほしい。
- 市単位での対策には、限界があるでしょうから、国県市行政一体となった対応を期待します。
- 高齢者の一人住まいは突然の災害時には対応できないこともあるのでは？隣近所とのコミュニケーションが取れていないような方々のこと、実態をもっと知ってほしいと思います。
- 避難所の自治会への配布
- 台風 15 号の時、私の住む地域は停電も断水も有りませんでした。親戚、友達などはとても大変だった様です。暑いときだったので、お風呂が困ったと言っていました。家族で華の湯などへ行っただけのことでしたが、何日も続くと料金もかなりかかったと聞きました。それに対して、市からの補助があれば良いのにと考えたそうです。
- 防災無線は、声が割れてしまい、聞きづらいことがある。市の Twitter や LINE があれば、気軽に情報を得やすいと思う。(既にあつたら申し訳ないです。)
- 防災無線は、雨風が強い時、何を言っているのかぜんぜんわからない。あれでは、避難指示が成田市からでもまったく判らない。お年寄りの所帯では、スマホを持っていない人も多く、防災無線もよく聞こえず、どのようにして非難させるのか、市として対策を考えていますか？風雨が強い中、自治会の役員が回ってくれる保証も無く、また、自治会から脱退している高齢所帯が私の町内でもふえています。
- 水没エリアと崖崩れの可能性があるエリアを現場でもっとはっきりわかるような標識や表示にしてほしい
- 避難指示ある中、近所の方が、年寄りにもう解除されたと言いついておられる方がおりました。その方はハンディがある方でしたが情報を伝える難しさを感じました。また広報車が避難指示をしているにも関わらず、大したことはないと言う方が少なからずおりました。熊本人吉の件もあり広報車だけでは限界あるようです。
- 洪水(というか、低地に水が貯まる、マンホールの蓋からの出水)対策に、積極的方策を。新築増改築の際、我が家の様に、カーポート(や庭)の地下に雨水を溜める仕組みを成田市が推奨し、補助金を付けて頂きたい。我が家では、1 トンの家庭用浄化槽を雨水タンクとして埋め込み、庭の散水に使用。(20 年前より)飲料水に出来る水道水を散水に使用するのが最小限にする事は、省エネにもなるし、将来的には、都内の様にトイレの洗浄水にも使用出来ればもっと雨水利用が広がり、洪水対策に最も有効と思う。是非推進して頂きたい。
- 自治体の活動指針を明確にし、市一体の活動を推進すべき
- 昨年台風の際には、停電断水と飛来物による家の損壊により避難所への避難をしようとしたが、最寄りの避難所まで

遠く車を持っていないので断念した。避難所の開設場所を再検討してほしい。

- 災害に対し、市役所内での処理が分割していて、わかりづらい。災害等おきたとき、例えば、台風災害課を運営し市民に分かりやすいように欲しい。千葉市では、区役所別にある程度、まとめてあります。
- 独居老人の緊急時の連絡先等を登録出来る市のサイトを作って欲しい。
- 防災無線が聞き取りにくい事が多々ありました。
- 正確な情報を迅速に得ることができるようにしてほしい。
- 暑い時期に災害で長期の停電が発生すると熱中症の心配があります。停電に間も自家発電装置なのでエアコンの効いている避難所の開設を検討してほしい。
- 市内には、停電の要因となり得る樹木がいまだ多く存在していると考えます。対策を講じてほしい。
- 去年の災害の時になかなか市役所が繋がらなかったと聞きました。その場合はどうすればいいか？を教えてください。
- あまり自然災害の影響が無い地域に住んでいます。ただ賃貸の団地のため町内会などがなく、いざという時に個人の判断で動くことになるので少し心配です。市のメール配信が一番の頼りなので、これからもよろしくお願いします。
- ①成田市と各種ライフライン間の情報共有
②新型コロナウイルスに対応した防災計画
③デマ情報の抑止
- がけ崩れに対する対応が遅すぎる。今頃、調査して工事進まずで、これでは二次災害が起きてもおかしくない。
- 災害時の情報が乏しく、仕事中は結局近隣の友ママの連絡だったり自分の目で確かめるなど、それでは遅いと思います。自治会に対してもどんな対応策があるかも分からず、自分の命は自分で守なければいけません。周りとの協力助け合いも必要と思います。今まで幸い大きな災害に見舞われた事はないけど、いつ、どこでどんな自然災害にあうかわかりません、普段からもっと危機管理をしなければいけません。容易ではないが年 1 回ぐらい市民で大規模の防災訓練を実施するべき。
- 全体的に役所内での連系をスムーズにして欲しい。
- 昨年 15 号台風の時にはシャワーと洗濯が困ったのでどうにかして欲しい
- 近くにポリテクカレッジがあるのに、何故遠くの平成小学校が避難所か？高齢者にはとても歩いては行けない、市はポリテクカレッジに交渉すべきである
- 昨年の台風で、被害の大きな家、全く問題ない家がありました。停電や断水時の助け合いが出来るよう被害状況の周知、協力要請をもっとしたら良いと思います
- 啓発などの事前のことも大事だが、事後の復旧の大事さも実感した。復旧の要は流通網だと思います。物資、それから救急の医療も。現代では、田舎でもまず行く所は コンビニやなにかの施設となると思います。共同利用施設は 大小もあり場所も地域特有の場所なので隣の地区の人たちは行きません。動く人は高齢者ではありません、自力でどうにかできる人、運転できる人、通信手段や繋がりを複数持っている人、つまり、電話、ネット、知り合い、友達、会社関係です。以上、思いつくまま書きました。
- 今回の台風で瓦が割れ雨漏り等の被害を受けました。全て初めて経験でしたのでとても困りました。ハザードマップなど災害前の事は、知っていましたが災害を受けた後の事も広く伝えて欲しいと思いました。
- 市民みんなが災害あっている中、職員にばかり対応を求めないように、各地域に災害対応時に避難所などで手伝える要員を育てておけばいいと思う。年に 1 回でも職員とともに避難所などでの対応の仕方を訓練しておけば、いざとなったときにすぐに手伝えると思う。混乱している時だからこそ市の職員に頼るだけでなく市民一体となっていくべきだろう。
- 避難所である学校施設の老朽化が進んでいます。広大な公園を有する成田市では、テント所有者の避難先として活用してはいかがでしょうか。
- 防災無線がまったく機能していない。台風、大雨など外の風や雨の音が激しくなってくるとぜんぜん防災無線は聞こえません。美郷台は日頃の無線放送は殆ど聞こえません。風の向きで時に聞こえる時もありますが、災害の時、必要な時に

機能していないのでは無いのと同じです。大至急防災無線のスピーカーを増加して美郷台でも聞こえるようにしてください

- 住居は比較的、災害が起こりにくいと油断してますが、非常食等揃えていこうと思います。
- 防災無線は放送されているが、我が家には聞こえない。避難所の開設等があったときに、特に停電時は災害時の情報が入手できないのが困るので、そこをなんとかできないだろうか？
- 耳の聞こえが悪いため、防災無線は役に立ちません。
- ペットの同行避難ができる避難所がほぼ無いため、仕方なく、家に残る、車内泊すると聞いています。あちこちに同行避難ができる避難所ができれば安心です。
- 停電で、自宅の Wi-Fi が使えない中、スマホの接続もイマイチだし、電波も弱くバッテリーがどんどん無くなっていき、あまり使えず、情報がとにかく入ってこなかった。防災無線は、我が家ではよく聞こえませんが。スマホなどが無い年配の方はどうやって情報を得ていたのかな？と思います。青パトなどで放送しながら走行していただくとか、何か方法はないですか？また、我が家は徒歩3分ほどで芝山という場所に住んでいるので、成田の情報ばかりでなく、近隣の情報も知りたく、結局のところNHKのアプリが1番役に立ちました。(ニュースも放送してます)我が家は水道が使えたのですが、井戸水のお宅は水が出ず、給水車の情報も乏しく、情報を入手しても、渋滞が酷くてたどり着けないと話していました。ニュータウンの方は充実してたとか？そんな話も聞きました。田舎の方でも、成田市民です。これを機に、再度防災の対応について検討してください。
- 無線で、何かを言っていたが全然聞き取れなかった。もっと、リピートすると音量のテストをしてほしい
- 富里市の防災無線は聞こえるのに、成田市は聞こえなかった。普段の生活面でも、成田市は防災無線は流さないのか、聞こえない。メールだけが情報収集のツールだが、あの日は電波も悪くメールが入ってこない。不安で仕方なかった。
- 成田市は、浸水や停電断水等で大変苦労した地域と、電池等の品切れはあるものの日常とさほど変わらぬ地域との差が激しかった。その結果、成田市民の防災意識にも差が生じ、特に児童生徒の間に、防災意識が定着していない地域がある。加えて、災害の影響をあまり受けていない地域にある集合住宅の自治会は、災害対応という面で全く機能していなかった。今後の課題だと思う。
- 豪雨や強風時には防災行政無線が殆ど聞き取れない。スマホや携帯電話に直接連絡が欲しい。
- 街灯のLED化を願います。夜が暗い為。省エネで、災害時など電力低減。
- メールやTwitterは情報を得る為に有用なツールなので災害情報を得る為に活用しています。
- 多言語で放送して欲しい。よろしく願い致します
- 避難所が実際は開設されているのに、ホームページに反映されていない場所があった。シャワー室の開放や充電場所の提供は、対応が遅い印象があったので、次回の災害時は、迅速にニーズを把握し、対応してほしい。また、台風がくる前余裕をもった避難所開設を期待したい。台風が強いときに避難所を開設しても危ないだけ。
- 今までの台風では、庭の植木鉢等が倒れている程度でしたが、15号では雨樋が吹き飛ばされる被害に遭い、風の強さで大変恐ろしい思いをしました。家が吹き飛ばされるのではないかと思います、避難場所の準備等とても心配になりました。そのような時は地域全体が被害に遭うので、全体が避難出来る場所の確保等の準備をお願いしたい。
- ファミリーサポートのように災害時も小さな子がいる世帯を手助けしてもらえるような制度
- お風呂の開放があるとよかった。市内のホテルに前もって市がかけあっておくなど。富里はラディソンホテルさんが独自で解放してくれていたようすが。
- 町内に防災組織があるが色々提案をしているが全く機能していない。仕方がないので、自分で対応するのが一番。
- 大雨の時に防災無線や広報車で何かを案内していたが、雨の音が酷くて案内の内容が全く聞き取れなかった。
- 自分では「常に備えよ」と思っています。【自治体は、どうすれば皆の命を守れるか】ということを念頭に、今までの対策をすべてゼロベースで再度本当に必要か見直し、「コロナ禍での新しい生活様式」を踏まえて対策していただければと思います。
- ニュータウンの集合住宅なのであまり台風などに危機感はありませんでしたが、昨年の災害では団地内の木が倒れたり、被害がありました。普段からの備えを今一度見直し(時代にあった)安全に気をつけていきたいです

- 千葉県成田市は浸水しやすいと感じた。道路の水はけをどうするか。まず工事をしないといけないのでは？
- 災害の発生時後、被害の発生した自治会に状況の把握連絡を自治会長に連絡依頼を直ちにしたい。
- 成田市の防災 Twitter があるとは知らなかった。
- 3 日間停電だったが、復旧がいつになるのか情報がなかったのが不安だった。太陽光発電携帯充電機を用意した。災害時の公の情報は大切です。地域の自主防災センターを立ち上げられるように、成田市で音頭を取ってほしい。わが町の役員は災害時はなにもしていなかった。この夏、コロナで公民館周りの草刈りが中止になり、草だらけになっている。近所の女性たちでやれる範囲の草刈りはしているが、困ったものである。公民館は災害時の拠点となる大切な場所であるから…
- 昨年の台風では、幸いなことに我が家は屋根の一部が損傷しただけで済んだが、長い期間停電で不自由な生活を強いられた家もあったとお聞きしました。停電の場合、市内のどの地域が影響しているかなどの情報を流すことは出来ませんか？そのような情報がわかれば、影響地域の知人・友人などに救いの手を差し伸べることが出来たのにとおもいます。
- 災害がいつ起きても大丈夫な様に、歩道は歩ける様にしてほしい！毎回お願いしているのですが、不動ヶ岡ツチヤ自動車のあたり草が覆ってしまってすれ違えないです！
- 昨年の台風時には木が倒れ、電信柱も傾き、電線が切れかかっているのに、市の広報車はただ眺めて通り過ぎるのみ。住民が東電に連絡すると、市からの情報は入っていません、直ちに処理しますとのことで直ぐにやってきました。マニュアル人間では危急存亡の時に役に立ちません。実践的な防災管理対策訓練教育を市役所の人間に徹底して行い、事故想定訓練を抜き打ちで行い、いざと云うときに的確な行動がとれるか否かを検証し、防災担当者及び全市役所員のレベル向上を図ってください。
- 成田市の防災等の外の放送が、殆ど聞こえません。平常の時も、聞こえが悪いのですが、風雨の時などさっぱりです。肝心の時に意味がなくなっています。尚、耳が遠いということはありません。他の手段がほしいと思います。

【まとめコメント】

このたびは、令和元年一連の災害時の対応状況についてのアンケートにお答えいただきまして、ありがとうございました。今回のアンケートにおいて、皆様の災害に関する関心の高さを伺うことができた反面、災害について不安を持っている方も多く、情報提供の充実や停電時の対応の強化などの検討が重要であると感じました。

いただいた多くの回答は、今後災害対応への検討を進めていく上での貴重な意見として活用させていただきます。

今後とも、成田市インターネット市政モニターへのご協力をよろしくお願いいたします